

生ごみ処理は「海老名キエーロ」で快適に

家庭から出る燃やせるごみの約半分は生ごみです。市では、ごみ焼却時に排出される二酸化炭素とごみ処理費用の削減を目指し、海老名市建築職組合が県産木材を使って製作・販売している、「海老名キエーロ」(以下、「キエーロ」)の普及促進を行っています。



▲「海老名キエーロ(右)」は、幅101cm×奥行55cm×高さ86cmの木製です。市役所敷地内にも設置しています。

土の力で生ごみが「消える」

「キエーロ」は、土の力で生ごみを分解・消滅させる生ごみ処理機です。土の中に生息している微生物が生ごみを分解するため、繰り返し使っても土が増えず、維持費もかからないのが特徴です。また、正しく使えば虫や生ごみ特有の臭いは発生しません。養分を含んだ土は堆肥として再利用することもできます。

【分解できるもの】

食べ残しや肉・魚類、野菜の調理くずなど、ほとんどの生ごみが分解できます。水分を含んだものや油脂類も投入できます。

【分解できないもの】

貝殻や動物の骨、タマネギやトウモロコシの皮など固いものや繊維質が多いもの。

利用者の声

市役所1階喫茶室ともしびショップ「ぱれっと」
スタッフ 中村さん



◀深く掘るのがちょっと大変だけど…

2年前から喫茶室で出る生ごみを「キエーロ」で処理しています。最初は、黒土だけで生ごみが分解できるのか半信半疑でしたが、本当に生ごみが消えたので驚いています。夏場でも嫌な臭いはせず、虫も発生しません。

分解を早めることは、キャベツの芯やレモンのヘタなど固いものを細かく切り刻むこと。「キエーロ」は、カレーやパスタソースなどドロツとしたものもそのまま入れられるので、生ごみが楽に処理できて快適ですね。



▲喫茶室で出る1日約2kgの生ごみを処理

本体費用の4分の3を助成します

「海老名キエーロ」は一台2万4000円。市内在住の方および市内に事業所を有する方には、「生ごみ処理機設置補助金」で本体費用の4分の3を助成、実費負担1台6000円で2台まで購入できます。補助台数には限りがありますので、「キエーロ」を購入する際は必ず事前に資源対策課までご連絡ください。



年末年始のごみ収集 ～ルールを守って快適な年末年始～

12月30日(木)～1月3日(日)は、ごみと資源の収集を行いません。収集日程を確認し、間違いのないようにしてください。

なお、年末年始はごみの量が1年で最も多くなるため、収集時間が大幅に前後する場合があります。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

日	月	火	水	木	金	土
12/27	28	29	30	31	1/1	2
			休	休	休	休
3	4	5	6	7	8	9
休			通常通り収集します			

粗大ごみ

回収を依頼する場合

年内の戸別収集は定数になり次第締め切ります。
年内の電話受け付けは12月28日(月)17時まで、年始は1月4日(月)9時からです。
直接、リサイクルプラザ(☎237・3196)へ申し込んでください。

美化センターへ直接持ち込む場合

年内は12月28日(月)16時まで、年始は1月4日(月)9時30分から。
年内の申し込みは12月18日(金)まで。年内は12月28日(月)まで収集します。年始は1月4日(月)から収集および申し込みを受け付けます。
直接、美化センター(☎231・3366)へ申し込んでください。

し尿・汚水

「キエーロ」の使い方

1 キエーロを設置

日当たりが良く風通しのよい場所がお勧めです。設置した「キエーロ」の中に、黒土(庭や畑の土も可)を入れます。

2 生ごみを投入

20cm程度の深い穴を掘り、生ごみを入れて周りの黒土とよく混ぜ合わせます。水を入れ、さらによく混ぜます。

※生ごみは、ふた付きの容器で事前

3 乾いた土をかぶせて終了!

上から乾いた黒土をかぶせ、生ごみを完全に覆います。

4 埋める穴を変えながら、②と③を繰り返します。

分解にかかる時間の目安は夏場は3日、冬場は3週間程度



黒土を、入れて・混ぜて・かぶせるだけ

図資源対策課(235)4923